

柏崎・刈羽モデルにおけるリスク情報の伝達

Part 4. 実施マニュアルにおける課題抽出・分析

柏崎モデルの構築手順には、「他地域への活用手順を盛り込む」ことが掲げられている。しかし、昨年の実施マニュアルでは、初期の体制づくりが未だ詳細化されていなかった。また今年度は、説明事項として原子力リスクに係わる内容を設定しているが、昨年のマニュアルでは対応しきれない箇所、新たに改善を必要とする箇所が生じている可能性がある。Part 4 では、まず再生可能エネルギー導入検討マニフェスト及びヒアリングがマニュアル通りに記載方法を検討した。次に、今年度のアンケート及びヒアリングがマニュアル通りに行われているかどうかを検証した。その結果、初期の体制づくりについてはマニュアルの記載が改まり、今後調査を行って把握すべき内容が明確になった。また、体制づくり以降に改めるべき箇所は見当たらなかつたものの、説明事項の設定において住民ニーズを考慮すべきことが再確認出来た。

200912063 吉田 健人